オーク狩り女剣士と最愛の年下少年の秘密
ベッドと女剣士を壊す求愛
?!
出来るだけ優しくするから
全然優しくない…!
ちゃんと見せて?
作・編うに

ドッ
ドッ
ドッ

自他共に認める優秀な剣士だったがもうダメだろう
さようなら
何やってんだ馬鹿ッ!!
ヴェネト!? なんでここに!?
ドバァ!!

まーたヴィクの言いつけ破って敵を深追いしたな!?
いつも言ってるが計画ってものは…
やめてくれ！

後でヴィクに叱られるんだ！
他の人の説教は聞かない！
叱られる自覚はあるんだな！

そんじゃあ飛ぶぞ！

飛ぶ!?

ダーン
あああああ
ドボボボボボ

俺の頑丈さに感謝しろよ？

悔しいけど感謝する…

で、何でお前までこっちの大陸に渡って来たんだ!?

いつも戦闘中に現れてストーカーオークになっちゃったのか!?

たまたま

たまたまって回数じゃないだろ！

じゃあな！ヴィクの為にも命は大事にしろよ

あっ！待てッ！

悔しいが
奴の言う通り

もういない…

私はもう
がむしゃらに
命をかける真似は
できなくなった

タタッ

おかえりなさい！

ヴィクという
恋人が
出来たから

魔物に襲われていた彼を助けたのが出会いだった

行き場がないからと私の修行の旅に同行する事になった

戦いは不得手

その代わりあらゆる形で私を支えてくれた

次に討伐する魔物の資料です

お〜…

そしてある時

自分の恋愛経験の無さ歳の差…

戸惑いもしたが私は彼を受け入れた

これが依頼品の魔物の角だ
わ～！すごい！この量は…
ガシッ
また敵を深追いしましたね!?
ごめんなさい！見過ごせない危険な魔物がいたのでつい…！
なるほど…確かにコレの持ち主の情報はありませんでしたね
しっかりと追加報酬を請求しましょう
ちらっ…
？
無事で良かった…！
しっかり者でとても愛らしい私の恋人
だけどヴィクには秘密がある

あ、そうだ！体力回復になればと買っておきました
アップルパイ!!
美味しい！
良かった！そのリンゴ…
オークが育てたんですよ
この大陸のオークには農園を持って人間と交易する一族が存在するそうです
…そんな話を信じさせる為にあの国を出ようと提案したのか？
いいえ？僕達の関係をより良くする為です
その秘密はまだ明かしてはくれない

え？
ヴェネトが？

あいつもこっちの
大陸に渡って
来たみたいだ

私達と、
ほぼ同時だな

良かったんじゃ
ないですか？

いつも助けてくれる
味方のオークでしょう

!!
ヴィク！
ギュッ
すみません
フィリアの香りを感じたら興奮してきてしまって…
香りって…それは汗だ！
まだ身体も拭いてないから待ってくれ！
待てません
フィリアの汗の匂い大好きなんです

・・・・
今日こそ
いいですか…？

…もちろん

すごい…
全身蒸れてる

恥ずかしいから
言わないでくれ…！

はー…あ…

はー…あ…

あっ
こっちも
すごい

しっ下着の
上からッ！

吸わな…っ！

あっ♡

ビクッ

チュー

ん…！

はー…

はー…

布越しでも
ピンとしてるの
わかりますよ

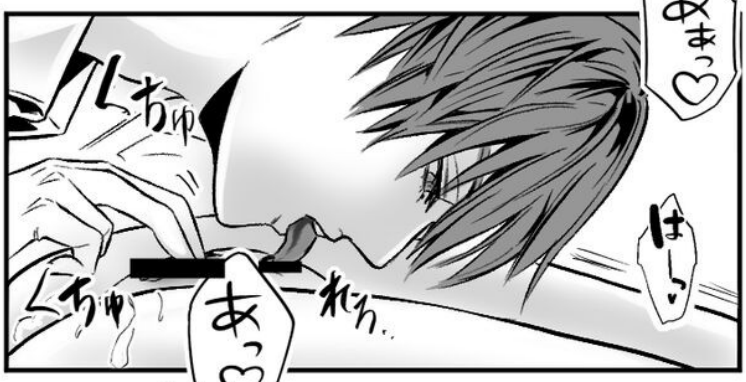
可愛いな…

イヤッ！

直接舐めたり触れたいな…
カリ
カリ
カリ
カリ
いいですか？
フー
フー
フー
フー
グッ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
じわぁ
ねえ？
ビクッ
ぎゅう
ビクンッ
ビクンッ
あっ♥
いっ…いい！直接っいいいっ!!
グリッ
あっ！待って…
やっぱりまだ恥ずかし…
ずるっ

ダメ

ちゃんと見せて？



はー
はー
簡単に濡れてほぐれて…本当に可愛い
はー
あぁッ♡
あっ♡
んっ
あっ
あっ♡
いっ♡

ねえ
両方のひざ
抱えて？

おっ♡
こんなの
恥ずかしい♡

ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
パチュ
パチュ

でもちゃんと
やってくれるん
ですよね

大好きです

あぁ♡
あぁ♡
パチュッ♡
あぁ♡
あぁ♡
パチュッ♡

あ…

いつもこの辺りから中のヴィクのモノが

ミチッ

ミチッ

はーっ♡

はーっ♡

異様に大きくなってくる…！

メキ

メキ

あっ♡

イク…ッ！

あぁっ♡

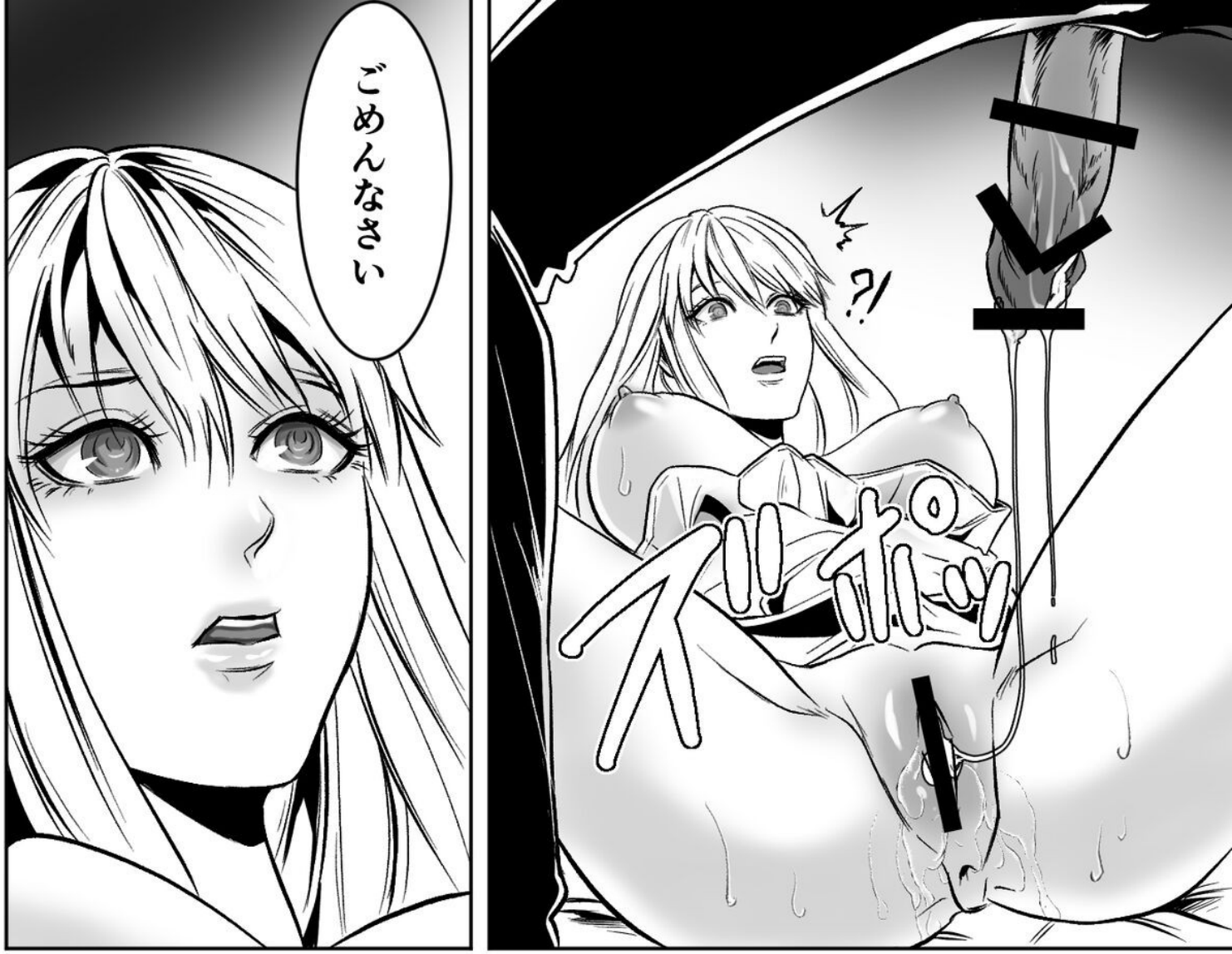
今度こそイける…!!

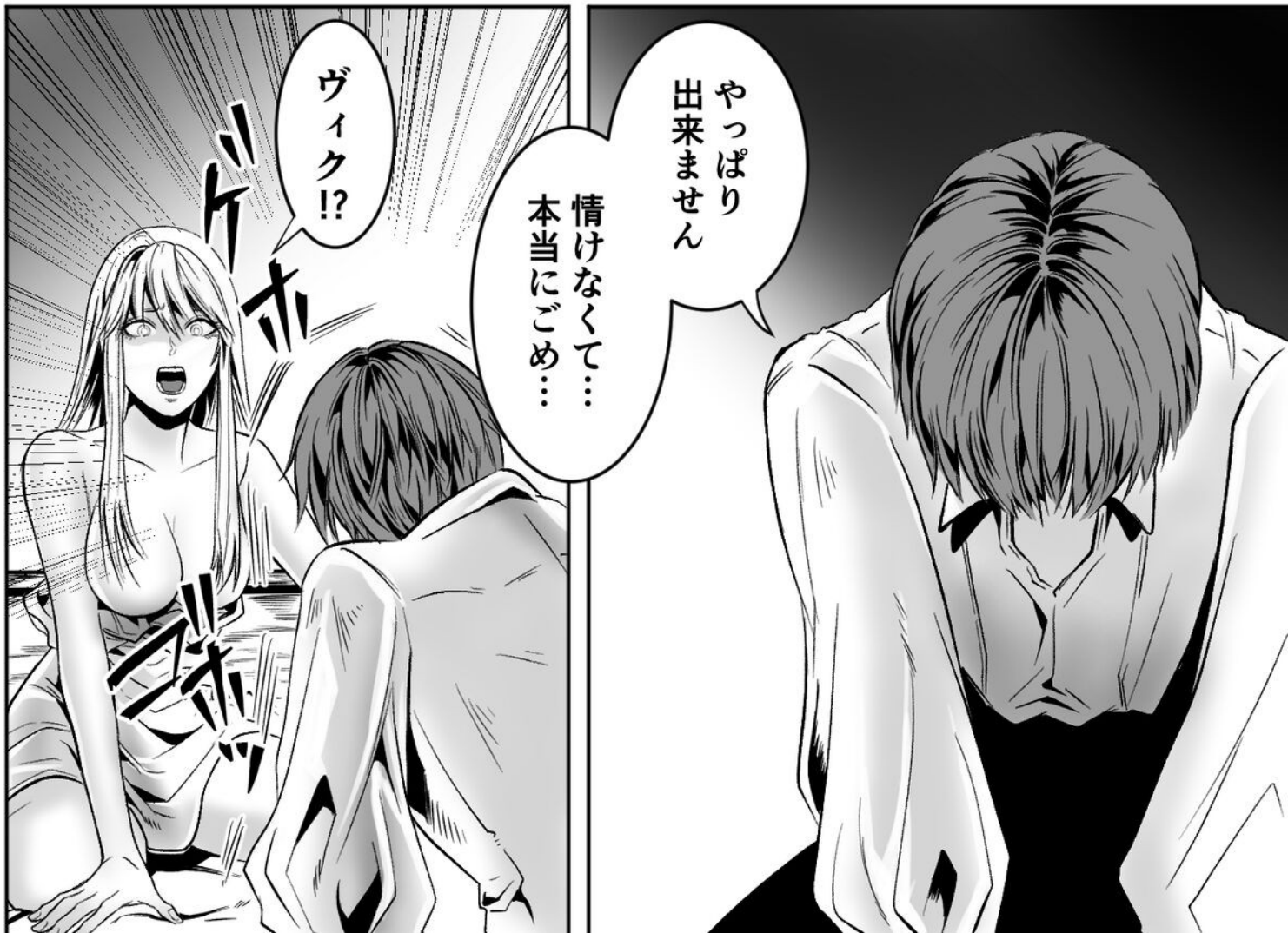
たぷんっ♡

きゅんっ♡

きゅんっ♡

きゅんっ♡


ごめんなさい
ズポッ
ズポッ
?!


やっぱり出来ません
情けなくて…本当にごめ…
ヴィク!?
ゲホ
ゴホッ

すみません…！自分の部屋で休みます…！

バンッ

あっ…！

私達はまだ

最後までした事がない

それは多分ヴィクの秘密のせい

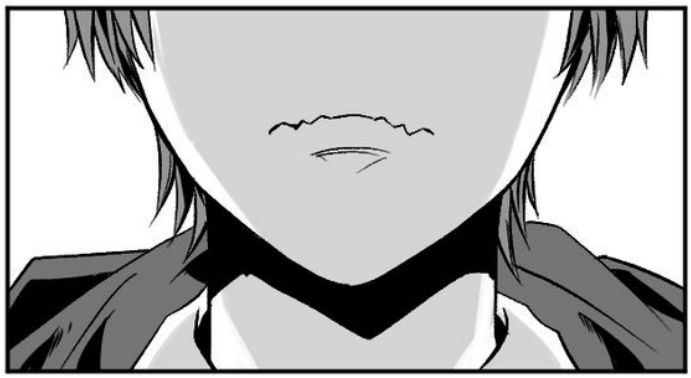
ドサッ

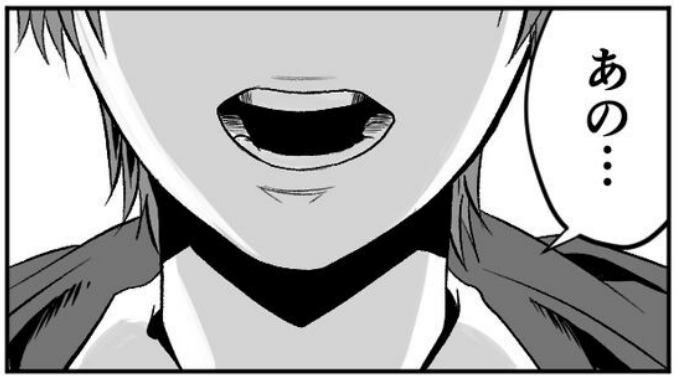
中でイクってどんな感じなんだろう…

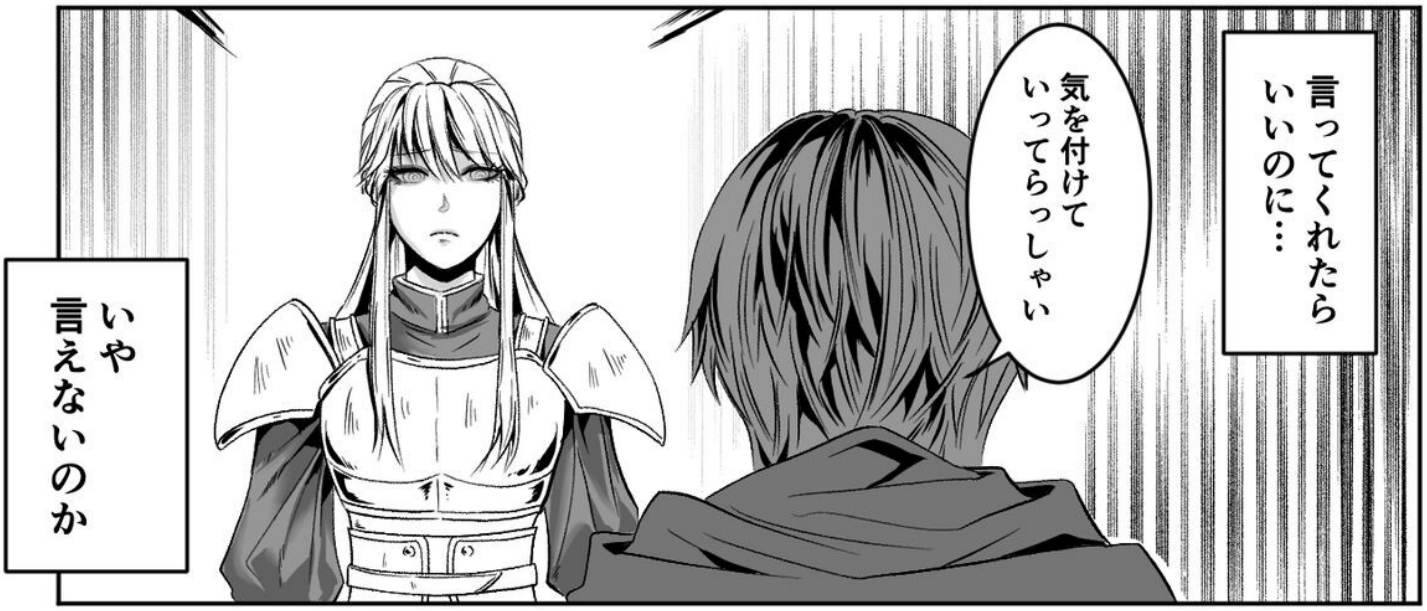
あの先の快楽を知りたい

おはようございます

おはよう







私が剣士を志した理由を
ヴィクは知っているから

よお
今日もこの森で魔物狩りか？
手伝ってやるよ

急になんだよッ!?
ビクッ
くんっ
くんっ

私の推測が正しければヴィクの秘密は…

見ろよ
オーク狩りで
有名なフィリアだ

へえ？
こっちは
海向こうの国ほど
オークは
暴れ回っちゃ
いないが

何でこの国まで
来たんだろうな

フィリア
お帰りなさい！

すみません！
僕の方が遅れて…

フィリア？

ヴィク

ビクッ

わあっ！
びっくりした！

ぎゅっ

ヴィク
今すぐ
抱いてほしい

どっ…
どうしたんですか？

…嫌か？

そんなまさか！
すごく嬉しいです！

…本当に
フィリアから
誘ってもらえる
なんて

夢の様です

ギュッ

ただ…僕はまだ
最後までは…

それでいいから
お願い

フィリア…

はーい

あぁっ♡

パチュッ♡

はーい

パチュッ♡

パチュッ♡

あっ♡

パチュッ♡

あぁ、パチュッ♡

すみませんッ！
もうここまでで…

えっ

ガバッ

ちょっ…
フィリア！
離し……

「武者修行の為
だけじゃない。
フィリアとの
関係をもっと
深める為です。」

ヴィクがそう
言ってくれたから
私はあの国から
出られたんだ

私もヴィクの
努力に応えたい

だから私から
ヴィクの秘密に
触れること
許してほしい

ヴェネトの
正体は…

義理の兄だろ

オークは時に種族を問わず仲の良い者と義兄弟の契りを結ぶと聞いた

対して私は幼い頃ならず者のオーク達に村を焼かれた

オークに恨みを抱いて剣士となった

それを知っていたから自分にはオークの兄がいると言えなかった

罪悪感で私を抱くことも出来なかった

違うか？

違います…

えっ…

ヴェネトからヴィクと同じ香りもしたのに!?

違います！

じゃあ何で私を抱けないんだ!?

やっぱり私が年上すぎて嫌になったとか!?

そんな訳ないじゃないですか！

お願いだからッ！

もう離してください！

じゃあ教えてくれ！

ギリ

ギシ

あ…あああああああああああああ

ヴェネ…
おおおおおおっ?!
ボコ
ボコ

悪い…
興奮すると魔法が解けてオークの姿に戻っちまうんだ
俺は魔法使いの人間とオークとの間に生まれた混血児
戻るって…
ヴィクは人間名ヴェネトはオーク名
どっちも俺だ

最初はやたらとオーク狩りをする女剣士がいるって聞いて

腹が立ってどんな奴か調べようと近付いた

でもフィリアの事情を知ってフィリアという人間も知って

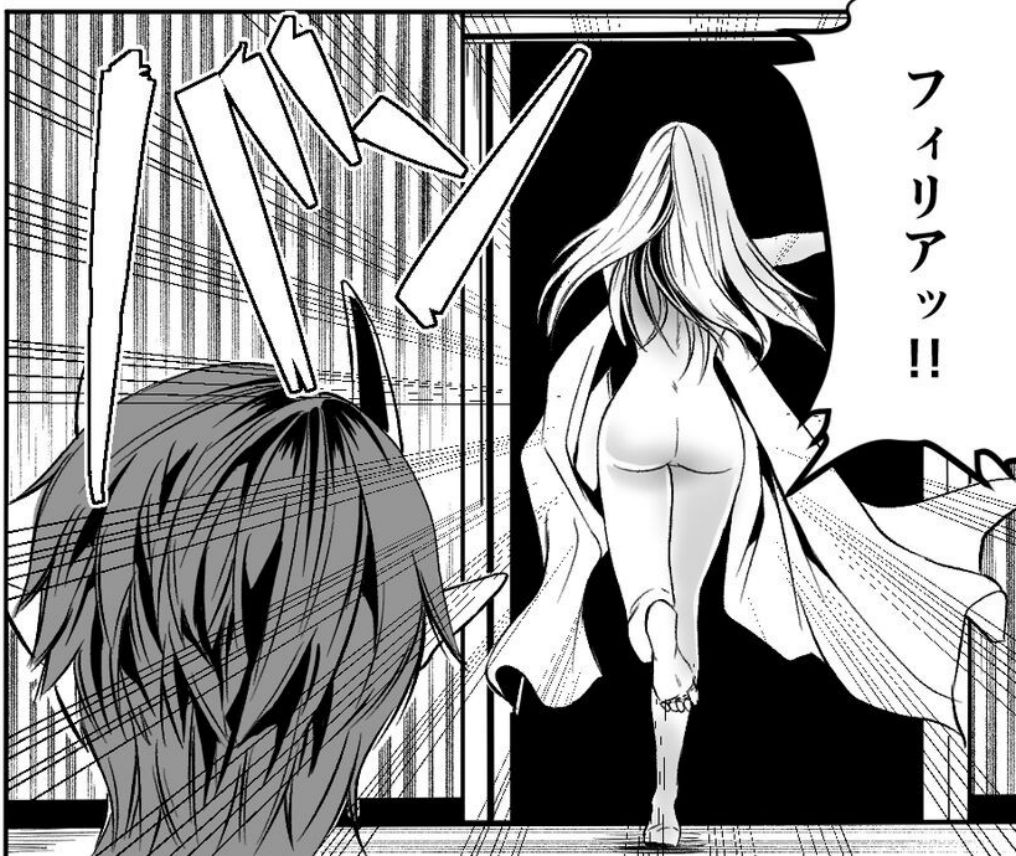
気付いたら本気で好きになってた

でもフィリアはオークを忌み嫌っているし好きなのはヴィクという人間の方だ

わかっていたから言い出せなかった

本当にごめん

ヴィクと
ヴェネトが
同一人物…？



リア…
リア
リア
リア…
ズズ…
すごい格好で飛び出してしまった…
ヴィクがヴェネト…私は今までオークと…！
キャアアアッ
助けてえっ!!オークが…!!

どうした!?

お願い助けて！向こうで襲われているの!!

オォォォ

わかった!!

パシッ

ならず者のオークはどこだ!?

ドタッ

あ？

おおっ!?
オーク狩りの
フィリアだ！

マジで!?
じゃあナマの狩り
見られんじゃん！

フィリアさん
殺っちゃって
くださいよー!!

そのオークは…
その人はただの農家の人じゃないか!?
なんで襲った!?

だって「オーク」じゃん
あんただって同じ理由で狩ってんだろ?

違うッ!!
うおっ!!
そんな格好で戦えんの?
パシッ
くっ…!離せ!!

ヴェネト…!!

もう宿に帰っていいってよ

農家の人も軽い怪我だけで無事だ

…じゃあな

何が「じゃあな」だ！人をずっと騙しておいて！

ビクッ

ほら!! ここ座って！

ばんっ

ばんっ

…他に隠し事は？
無い
…私への気持ちに偽りはないか？
そこに嘘はないッ!!
愛している!!
じゃあ許す！
えっ!?
ヴェネトはいつも共に戦ってくれた
私をずっと守ってくれていた
そして…

ヴィクは私にオークの知識を与えてくれた

オーク憎しだけの浅はかな私を変えようとしてくれていた

だから許す

…条件付きで

条件？

こっ…今夜こそちゃんと抱いてほしい

…本来の姿で

喜んで…！

…で？

何で完全装備!?

身体が勝手に…！

大丈夫かよ…やっぱり無理してんじゃ…

断じて違う！

…けどさっさと今夜は1回だけで終わらせてほしい

はあ!?

そして私は人形の様に横たわり無反応でいる事を許してくれ

何でだよ！

酷い事を言っている自覚はある
私だって恋人らしく振る舞いたい！
だけどこれはオーク狩りの剣士としての最後のプライドなんだ！
次からはちゃんと普通にするから…
どうか頼む
わかったよ
次回からは可愛い反応見せてくれよ？
わっ

…って言ったのに

ん♡

は♡

もう十分可愛い声出てるけど？

人形の様にしてるって話どうなった？

あっ♡

だって…！気持ち良…

あっ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

やっとここまで脱がせられた…

舐めていい？

どうぞ…

それじゃ

れろん

!?

ちょっ…！ちょっ！

すっ…すごい太くて長い舌だな…！

人間よりはな

はぁっ♥

ふぅっ♥

はぁっ♥

くちゅっ

くちゅっ

くちゅっ

くちゅっ

くちゅっ

じゅるっ
うね
うね
こっちの身体だと隅々まで舐められて嬉しいな
ビクッ
ギュルル
ギュルル
イクッ
イクッ♡
もうイクッ♡
ダメだよ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ

初めて中でイクのは
はっ♡
はっ♡
はっ♡
もう少し我慢して
あぁっ♡♡
あっ♡
はぁっ♡
んぐっ！
あっんっ
イッ♡
ぐちゅ
ぐちょ
うね
うね
ぐちゅ
ぬぽんっ
ふッ♡
イッ♡♡
ジュブッ
ダメッ！
ダメッ！

もっと舐めて
いたかったけど…
これ以上は
舌を挿れただけで
ダメそうだな

じゅる…

ドン

ズン

重っ…！

オークのは怖い？

ズリ

大丈夫

ヴィクの時からほぐされていたと思うし…

ヴェネトがハーフ…という事はお母様だって通って来た道なんだろう

同じ人間の私にだって出来る！

一思いに貫いてくれ

わかった

あ

言い忘れていたんだけど…

うちは父が人間で母がオークだ…！
そっちかぁ
出来るだけ優しくするから
全然優しくない…！
バチュ
バチュ
ドチュッ

息が出来ない
くらい重い…！
でも…

ドスッ
ドスッ
ドスッ
ドスッ
ザプ
ザプ
ザプ

気持ちいい…！
ふぅっ
はぁっ
ふぅっ
はぁっ
はぁっ

ガシッ

ふぅっ♡
んっ♡
んむっ♡
バチュ
んっ♡
むっ♡
バチュ
バチュ
バチュ
あふっ♡
はぁっ♡
バチュ
バチュ
づぇもぅ本お
イクゥ♡
俺も…！

あぁぁぁぁ
ぃぃぃぃぃぃぃぃ
ぁぁぁぁ

ドッ
ドッ
ドッ

すごい量…！

おっ♡

おっ♡

ドプ…

ビクッ

ビクッ

ドサッ

んっ……

すごかった…

初めて絶頂を知れた…

ありが…

あ あ あ?!

ズパン!

俺も幸せで気持ち良かった

でもまだ足りない!

いっ1回だけって約束…
んぎぉぉっ♡!
ドオォォン!
無理だ…!
フィリアの汗の匂い嗅ぐと抑えられない!
ぎっ♡
ぎぎんっ♡
はぎっ
ぎぎっ♡

ヴェネト！何か変！
すごい気持ち良い！
ドキュッ
ドキュッ!!
あっ♡
異常に気持ち良い!!
あっ♡

こんなの普通じゃない…!!
キュンっ♡
キュンっ♡

ああそれ俺の精液のせいかも？
オークの体液って媚薬の作用があるとか何とか…

なっ…

何だそれ!!
ヴェネトは言ってないこと多すぎ…
おっ!!
ズッパッ
ばばばば
ばばば

あっ♡
はっ♡
ガタ
ガタ
ガタ
あっ♡
あぎ
あぎ
っ♡
ビクッ♡
んっ♡
はっ♡
ビクッ♡
ボト
ボト
ギッ

フィリア！
まだ足りない！
ぶぁぁ♡
もぅダメ
もぅイッちゃぅ!!
ぐいっ
パ
パ
パ
パ
はぅっ!!♡
ぐるっ

おぉぉぉ
おぉぉぉ
おぉぉぉ
おぉぉぉ
ドズ
ドズ
ドズ
ドズ
ドズ
ドズ
ドズ
ドズ
ドズ
ビッ
ビッ
ビッ
ビッ
ビッ
ビッ

ぶしゅッッッ
ぶぱッッッ
ぶぁぁぁぁぁぁ!!!
バッッッ
ボキッッッ

ああっ…ベッドが…
ベッドは無くても出来る…！
んぎぃぃぃ!!
ドビュッ
ズッ
ドチュ
ズッ♡

ごめんフィリア
何度してもし足りない
はーっ
いっそぶん殴って止めてくれ…！
はーっ
カクンッ
はーっ
プシッ…
いまさらだ馬鹿っ！
ぱちっ
私じゃなかったらこんな激しいの死んでるぞ…
もういいよ
何回も中に出されたせいで私も身体がおかしくなってる
好きなだけして？

フィリア！
あっ♡
あぁっ♡
フィリア！愛してるっ！
んむっ♡
フィリア！
ダンッ
ダンッ
ダンッ
ドピュルルルル
あぁ
あぁ
あぁ
あっ♡♡♡
[redacted]

…はい
はい
本当にすみませんでした…

ベッドの弁償代凄かったな…
事情は上手くごまかせただろうか？
あの顔は全部お察しですよ
所持金がほぼゼロですよどうします？

それは問題ない
…ヴェネトが今日もこれからもずっと魔物狩りを手伝ってくれるだろ？
そしたらお金はきっとすぐ貯まる

そうですね…！
頼りない
フィリアを
生涯支えます！

一言多いな！

ほらさっさと
行くぞ！

ちょっと
ヴェネトが
出てる！

あっ待って！
腰をやられてて…

大丈夫ですか？
今夜の為に早く
治さないと！

今夜もするの!?

END